

広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

招 集

令和5年3月20日（月）予算決算委員会終了後 議会第1会議室

出席委員（8名）

（委員長）西野 太 一 （副委員長）伊藤 ひろえ
岩崎 康 朗 門脇 一 男 錦織 陽 子 森田 悟 史
矢田貝 香 織 吉岡 古 都

欠席委員（0名）

出席した事務局職員

松下局長 田村事務局次長 長谷川議事調査担当係長

傍聴者

稲田議長 松田議員
報道関係者0人 一般0人

協議事件

- 1 議会報告会開催要綱（案）取りまとめについて
- 2 広報広聴委員会の今後の進め方について
- 3 その他

~~~~~

## 午前10時15分 開会

○西野委員長 ただいまより広報広聴委員会を開催します。

本日、協議事件の1つ目として、議会報告開催要綱（案）取りまとめについて、各会派に持ち帰りということをお願いしたんですが、協議の前に、3月9日に議会報告会の作業部会というのを初めて立ち上げまして、その内容についてちょっと報告したいと思います。

錦織委員と矢田貝委員と岩崎委員で協議しました。前期までの議会報告会で、自治会連合会のブロックを4ブロックに分けて開催した経験などから、担当する地区の代表者と調整するなど時間がかかるという問題点。公民館などで開催する際、コロナ禍や災害時などで中止となるケースの連絡が徹底できていない。自治会ベースなので、自治会に加入していない住民や若年層などに開催の周知が難しい。報告会の内容に関係のない話題を求められ收拾がつかないなど課題があったため、今期の広報広聴委員会で理想的な報告会を皆さんで模索してきました。報告会を常任委員会ベースにして、常任委員会に課題、問題のテーマに沿った団体と報告会を開催していこうという要綱案を制作したんですが、常任委員会、委員長の負担も懸念されることが大いに考えられるので、やはり報告会は広報広聴委員会が主体となり、さらには前期までの課題を克服できるように、鳥取市の報告会を参考にするのがいいのではないかと。

そこで、鳥取市の報告会で参考になる点ですけど、相手方の団体を決められる。これ、令和2年10月、鳥取大学、そして令和3年に子育て世帯市民と開催されてます。議会報

告自体は15分程度と短いもので、あとは意見交換会。これは、相手側がテーマを決め、テーマごとに担当議員を配置して、これにより米子市4ブロックで開催していた報告会が1か所で収まる。意見交換会のルールをしっかりと説明する。トークカフェ形式、模造紙や付箋を活用しながら、ドリンクも用意し、参加者が発言しやすい雰囲気。テーマに沿った意見交換会ができるので、参加者のアンケートも肯定的な意見が多く、開かれた議会であるなどというふうなことで、皆様に今まで常任委員会ベースでいこうと進んできたわけですが、先日の作業部会ではこういうことになりました。

このことについて御意見、よろしくをお願いします。

(「出た人から付け加えることがあったら、ちょっと。」と門脇委員)

**○西野委員長** じゃあ、作業部会のメンバーで付け加えの発言あれば、よろしくをお願いします。

**○矢田貝委員** これは集まった人がこんなふうに考えたって、並行で15日締め案に対して意見が上がってくるっていうのは分かった上で、それでもちょっと整理しとかんと集めっ放しになってしまうんじゃないかという意見を言わせていただいた中で、9日の並行の意見交換をさせていただいたということを御理解いただいてというふうに思っています。

それと、今期のメンバーでどこまでこの議会報告会のことを締めれるかというか、まとめ切れるのかっていうところが、今一番、私たちこうして今日持ち寄った意見、これから目を通すと思うんですけど、もうそろそろ整理していかないといけないかなっていうところが、9日の話の最後あたりにあったかなというふうに思っています。

**○西野委員長** よろしいですか。

[「なし。」と声あり]

**○西野委員長** 一応、15日締めの各会派に持って帰ってもらった意見、配付しましょう。(「配付してあります。」という声あり)

**○矢田貝委員** 会派でどんだけやり合ったかということで、これすっきりないまま出そうかと思ったんですけど、それでも持ち帰りっていう宿題をいただいているところに対して、何もお返ししないのは悪いなということ。

結論的にはこの一番最後の、2枚物の裏ですね、その他の追加事項等というところが、私たちの、今回、細かいことを上げなかった場合に、この15日締めで報告しようかなと思っただけでということ御理解いただけたらと思います。

**○西野委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 私も意見としては、何か鳥取市議会を参考にすると何か一言書いただけなんですけれども、会派の中でもいろいろな意見がございまして、まだまとまってはいないところございまして。私も、今、委員長の報告を聞きながら、課題、自治連合会のブロックを開催してきた経験から、課題を抽出して、でも今後やろうとする方向の、鳥取市の報告会でやっていくというようなところに、じゃあ、課題の解決、課題の解消ができるのかというようなところは、ちょっと不明確だなと思ったりもします。矢田貝委員がおっしゃられたように、今までの課題を抽出しながら、これから、今後の議会報告会の、私たちの目的とか対象とか、そういうようなところをもうちょっと議論しながら明確にして進めていけたらいいんじゃないかなと。

鳥取市は米子市議会の議会報告会の最初のところから参考にしていたところなので、先進

的に、いろいろ課題の解消も含めてやってこられたかなと思うんですけども、それにしても、私たち米子市議会のちょっとまだ議論不足かなって言うふうにも思いますので、それのところも議論をしながら、議論の途中になろうかと思いますが、次に送るって言うようなことがいいのかなと思ったりもします。でも、来期は議会報告会ができるような形にするって言うところには、どういうふうに持っていけばいいかなって言うようなタイムスケジュールも併せて議論ができればなと思っています。以上です。

**○西野委員長** ほかに御意見。

吉岡委員。

**○吉岡委員** 鳥取市の状況を参考にするということが、これはすごくいいなと思いました。今までの課題として、報告会の内容に関係のない話題を求められ收拾がつかないというのがあったので、ある程度のトークカフェとかルールを持ってやるということ、もうちょっと鳥取市議会を、ファシリテートって言うことをどなたがやっていて、どういうふうに行っているかっていうのをちょっと気になることで、やっぱりファシリテーターとして私たちができないと、どんな形にしても多分、收拾がつかなくなると思うので、そういうところにもまだまだ課題が、議論しないといけないところがたくさんあるなと思いました。

会派としては、やっぱり議員個人の意見が全く述べられないって言うことになると、参加した市民の方もすごく不満が残るので、述べる場合は個人の意見だと断った上で、節度を持って言うというような意見をまとめているんですが、この鳥取市議会の例などを見ると、どっちかという報告会というよりも広聴の面が強いなと思いました。だから、本当に、言う人はいつでも言うんですけど、あまり発言ができない人をどうやって意見をお聞きするかって言うような方向性で考えていくのなら、もうちょっと議論をしないといけないかなとは思っています。

**○西野委員長** 錦織委員。

**○錦織委員** この前、作業部会で話をしていた、大分感じが、こういう感じがいいんだなっていうのはつかめて、私はずっと頭の中では常任委員会のあれがよかったっていうふうに思ってたんですけど、でもいろんな話聞くと、それもそうだなっていうふうに思いますし、鳥取市の報告会などをもう少し、私なんかも直接この議員さんなんかにもうちょっと聞き取りをしたりとか、そういうこともしながら、こういう形でやっていけたらいいなっていうふうに思うけど、時間がまだ足りないって言うことと、いずれにしろ要綱案は変えていかないと、自治連合会のブロック、そういうのになってますよね。自治連合会にこうして行って、こうこうするとかって言うことが書いてあるんで、そういうこともあるんだけど、取りあえずはこういうふうにして取りまとめの何かしてあるんだけど、これはあんまり気にしないで、もう少しもんでいくって言うことでしたらいいなと思いますけど、でもそれをやっぱり5月、私たちの任期までに、どこまでやっていくって言うのが、もう一回確認できたらいいのかなって思います。あんまり、要綱も何もできないままに次に入っていくと、今度は開催そのものがちょっと難しくなるかなって感じはしてますけど。

**○門脇委員** 先日の部会の中で、4名の皆さんで、一応いろんな話された中で、鳥取市さんのこの議会報告会のやり方が、一応はこの方向がいいんじゃないかなって言う感じで、方向性としてはまとまったといいますか、皆さんそういう意見が、一応は今日のこの委員会って言うことですよ。

（「はい、その方向性。」と錦織委員）

あと、これ読ませてもらって、非常にやり方としても、私個人としてはいいのではないかなと思ってますけども、やっぱりこの方向性で進むのに、果たして私たちの任期の中でどこまでやるのか、どこまでできるのかっていうことがあると思うんですよね。そのためには、方向性が決まったときに、要綱の中で変えないところ、変えていけないところがあるのかなのか、ちょっとこれは局長に聞きたいところなんですけど。まだちょっと方向性は決まってませんが、やるのならやっぱり一度、二度、せめて最低一度でも鳥取市議会さんのほうのやり方を、お話を聞くなり、実際に本当にやっておられるところに行って、そういう方式っていうのを見ないとなかなか分からないっていうのもありますので、そういうところが果たして、5月ですかね、任期が、6月で替わりますんで、そのところまでで、鳥取市議会議員さんのお話を聞いたりいろいろするのか、それとも替わったときにそのところで新たに考えてもらうのかっていうところとか、ちょっと思うままに今、言いましたけど。そういうところをいろいろ考えていかないと、どういう感じで引継ぎやっていくのかっていうところを、どこまでやるかっていうことですよ、私たちのところで。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 意見ですけれども、鳥取市議会の、私は直接、議長、副議長に聞いたりもしたこともありますけれども、鳥取市議会はホームページで結構詳細にまとまっていて、どんな意見が出たとか、こういうふうで開催しましたっていう、何かその、年度ごとにいろいろ違うんですけども、鳥取市議会の変遷があつてね。初めは一般的な報告会だったのが徐々に変わってきたっていうようなこともホームページである程度見えるので、それはそれで個々に見ていただいたほうが、鳥取市議会の報告を一回見てっていうのだと随分後になっちゃうんじゃないかなと思うので、それは見れるんじゃないかと思うんです。

鳥取市議会は、毎年毎年、要綱でもないけど進め方みたいなのをつくっていらっしゃって、毎年毎年ね。こういう対象で、こういう班分けで、こういうメンバー構成でやってます、もう議員の名前まで書いてあるようなものが出ていて、だから、毎回毎回鳥取市議会のようにやるっていうのは、まず議論から始めてなので、とつても何かハードル高いのかなと、私的には何か思ったりもするのですが。なので、やっぱり要綱をまとめていく中で、せつかく議会報告会の作業部会も立ち上がったので、まあ何か申し訳ないですけど、何度か集まっていたいて、その要綱づくりっていうのをやりながら、じゃあ、どうかっていうようなことをまたこの広報広聴委員会、そして全体、会長・幹事長会議で渡しながらやっていくっていうような、何か具体的なものがあつたほうがいいんじゃないかなと思うんですね。趣旨とかそういうようなものも含めて。ないと何か、なかなかまとまりができないし、次にもお渡しすることが何かできないんじゃないかなと思ったりもします。私の意見は以上です。

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 順番的に森田委員が手を挙げられるか、ちょっと待ってみましたけど。

（「大丈夫です、ありがとうございます。」と森田委員）

今の伊藤さんのを続けてもらおうと、せつかく作業部会があるんだから、そこでもう少し今回、各会派に持ち帰ったこの要綱を取りまとめたところは抜きにして、鳥取を倣いなが

ら、現米子市の開催報告の要綱をまず4人でまとめて、ここで諮れるぐらいまでまとめ上げ、それを会長・幹事長会に諮れるぐらいなところが、今回の落としどころになりはせんか。具体的に行ってイメージするっていうところは、ホームページとか、今までの過去の頂いた資料等で想像しながらできるんじゃないかっていうことだろうというふうに受け止めたんですけど。

まず、せっかく会派に持ち帰ったこれがあるんだけど、そこを起動修正するっていうことがこの場で了解をいただけるということと、委員長、副委員長の御判断で作業部会的な4人頑張るっていうところを、それで終わるっていうことであれば、もうそこでちゃっちゃで今日のことは決まるかなと思うんですね。あとは何回、作業部会的なことをやっていけるかだと思うんですけど、森田さんの御意見があれば。何となく今の作業部会が勝手にやって報告したことに対して、むちゃくちゃ違うんじゃないっていう意見は、何かありますかね。

**○西野委員長** 森田委員。

**○森田委員** 僕ももともと常任委員会単位でっていう頭だったので、それで要綱の修正案を書かせていただいているんですけど、そもそも何か課題に感じてた、この委員会内で課題に感じたことが解決されるのであれば、その最善の形を取るっていうのが普通のことだなと思うので、そういう別の形で、意見を聞けたりっていう形で最適なものがあれば、もう何か常任委員会ベースにしたからといって、意見が聞けるかとか、何か適切に報告できるかっていうのはまた、確かによくよく考えたら何か別の話だなんていうのを思うので、こういうような形で形式を変えていくっていうのがいいのかなというふうに思いました。以上です。

**○西野委員長** 岩崎委員。

**○岩崎委員** 門脇委員とほぼ一緒なんですけど、ただ、やっぱりもう5月、6月で任期が替わりますんで、僕ら、もともとこの改選期とはいえ、議会報告会はしない。だけど、次にきちんと方針を残す、決定するっていうのが大きな役割の一つだったと思います。

それで当然、なかなか紙面上でもそうイメージもできないし、本当に実際の声を聞いてみたいなんて思ってまして、できれば視察、鳥取市さんのほうに視察ができればしたいなんて思ってます。するべきじゃないかなと思ってます。そうすると、やっぱりちゃんと我々はアクションを起こしてるっていうことで一つ説得力になるわけで、会長・幹事長会のほうで、きちんとこういうふうな形で方針を定めていきましたっていう手順を踏んでますということも言えると思いますんで。いつだったか、伊藤委員長のときに大山町に行ったときにもすごく刺激にもなりました。やっぱり実際、生の声を聞くっていうのはすごく大事だなと思ってます。苦労話も聞けますし、いろいろ悩みも聞けたと思ってますので、そんなことはどうなんでしょうか。私はぜひそうしてみたいなんて思ってますけども、いかがでしょうか。

**○西野委員長** 錦織委員。

**○錦織委員** 本当は、今やられるこの報告会っていうか、鳥取市の報告会を見たほうが一番いいと思うんですけど、多分4月、5月とかっていう話にならないと思うんで、若い人は10月あたりかなって思ったりもするんで。そうすると、何か大分先まで待たんといけんかっていう感じがするので、一応、何月ぐらいに計画されてますかっていうことは聞いて

てもらうにしても。

○**岩崎委員** 違いますよ。その会じゃなくて、担当委員さんとか。市議会の担当委員会とかに直接御教授いただこうと思います。トークカフェが本当は見ればそれが一番いいんですけど。なかなかそこまで待っておられないと、すみません。

○**西野委員長** その視察に行くという岩崎委員の意見に対して、皆様、どう思われます。伊藤委員。

○**伊藤委員** いいと思います。やっぱり実際行って、生の声を聞いてみるっていうのはすごく重要なことだし、私も米子市議会報告会を始めようとしたときに、かなり議長さん、副議長さんに一応お聞きして、それからその後も電話で何回も聞いたりとかしていたので、それは何か委員会として行くのはすごくいいんだと思うんです。でも、この前、私、鳥取市議会で議員の方に、米子市も鳥取市議会の議会報告会とかとても参考にさせていただいてるんですよって言ったら、何かその方は初めて議員になられたので、あっ、そうなんですっておっしゃったんですね。なので、受入れとかそういうような調整はちょっと事務局さんにさせていただいて、可能なら早い時期に行ってもいいんじゃないかなと思ったりもします。以上です。

○**西野委員長** 視察に行く、相手方あることですけど、視察に行く方向でよろしいでしょうかね。

〔「はい」と声あり〕

○**西野委員長** 局長、手続きを。

○**松下事務局長** そうですね。事務局のほうで調整をして。

○**西野委員長** お願いします。

○**松下事務局長** 行き先は鳥取市さんということですね。

○**西野委員長** 鳥取市さんです。4月中がいいですね。

○**松下事務局長** ちょっと調整してみます。

○**西野委員長** 視察に行った後に、じゃあ、また作業部会なり何なりを立ち上げてという感じで。

（「そうですね。」と岩崎委員）

局長。

○**松下事務局長** 最終的にはそうなると思うんですけども、例えば、視察でどういうことを聞きたいかとかというのを作業部会でもいいですし、この委員会とかでも聞いておかれたほうが、実際に視察に行ったときに非常に理解しやすいっていうのもありますし、時間の短縮にもなりますので、そういった会を設けていただくっていう、それで事前に事務局から相手方にこういうことについてお聞きしたいということで、あと当日はその場でやり取りをしてる中で、プラスでお聞きになっていただくということは可能ですけれども、ただ、その辺を、各委員がそれぞれ単独でということではなくて、ある程度こういうこと聞きたい、重複してもいいけませんし、その辺は、要は聞いたときにすば一んとかこう落ちるような形で、事前の準備がちょっと必要なのかなというふうに思います。

（「そうですね。」と岩崎委員）

○**西野委員長** 伊藤委員。

○**伊藤委員** 局長の話を聞いておまして、やっぱり何かある程度、作業部会で議論をし

つつ、それでそこで出た課題だとか、どういうところがちょっと分からないんだっていうようなことも含めてなので、何かやっぱり視察終わってからっていうよりか、何かすぐに始めていただいて、やっぱり大山町に行ったときもこう言われたんですね、そもそも何を求めているんだとか、対象は誰なんだとか、目的意識ってもっとはっきり持たなきゃいけないって、やっぱりそこら辺のところを、こういう課題があって、だからこういうふうにしたんだっていうようなところをちょっと何か議論して、まとまったものを持っていったほうが何かいいかも。

○**岩崎委員** いいですね。ポイントをちゃんとやっぱり絞って、こういうのはやっぱりちゃんと聞きたいとか、やっぱりやっていきたいですし。

○**錦織委員** そのためにはホームページを見とかんといけんということになるね。

○**西野委員長** 岩崎委員。

○**岩崎委員** 例えば吉岡委員から出ました、要は議員個人の意見をどう、何か多々言う場面が必要だっていう意見と、今までの議会報告会は、もう報告会だから個人意見はなしよっていう前提だったっていうところが、ただトークカフェ方式とかだったら多少は言えるかもしれないけども、多分、多分ですよ。僕のイメージ的には、我々が中心になって、要は進行役ですよ。それぞれのテーブルの進行役に徹するっていうことでいえば、意見なんか絶対言えないですよ。やっぱり意見を引き出すっていうようなイメージでいかないと駄目だと思ってますんで、これは私、個人的には思ってます。そういったところも、本当にどこまでどういうふうに鳥取市さんがやっておられるのか、そこはぜひ聞いてみたいところだなと思ったりもするんで、ぜひまとめていきたいなと思います。作業部会でね。

○**西野委員長** 矢田貝委員。

○**矢田貝委員** すごくいい方向に行ってるなと思うところと、すみません、一番最後のページになりますけど、公明党としての意見というのは、議会報告会っていうものは、そもそも議会報告会の時間は鳥取市は15分で、その他テーマに沿った市民の方との、吉岡さんが言われる広聴のほうの柱を前に出した、市民の方との意見交換会っていう、そこっていうのがより身近だしいいんじゃないかってなったときに、そこに私たちの委員会の中でこんなふうがいいんじゃないかっていう、会長・幹事長会に提案するための現地との意見交換であって、それを改めて全議員に共有して、議会報告会っていうのはこういう、米子市として方向を変えていくんだっていうところを共有してもらって、ゴーができるっていうところのギリまでじゃないかなっていうふうに思ってますが、そこは、私、皆さんで、この議論にすると全くそのとおりって思うんですけど、そのためのステップっていうのを踏まなきゃいけないっていうことはどうか確認をしていただいて、私たちが星をいっぱいつけて、これは私が打つんですけど、このところの2つ目の後半の部分っていうのは、議会報告会の在り方っていうことについて、よりよく進んでいくための26人の認識が共有できるような進め方をお願いしたいと思います。

○**西野委員長** 門脇委員。

○**門脇委員** ちょっと内容が分かりにくいところありますけど、例えばトークカフェ形式で、ちょっと6人なり7人なりのグループができたとして、そのテーブルが結構できますよね。例えば議員の数で割るんだったら、議員1人に何人かとか、議員2人に何人かかってなり

ますけど、その議員がそれぞれの共通の認識を持って臨むってことですよね。結局、そういうことではないですか。

**○矢田貝委員** そういうことではなくて、議会報告会っていうのは決まったことを報告するっていう姿勢で米子市議会は来ました。そこを取っ払って、本当に皆さんとの広聴を含めた意見を交換する場というふうに変えていくんだよっていう、変わっていきうっていう提案を、より市民と近づくためにそういうふうにしようと思っている。それも議会基本条例の5条の2項でしたっけ、そこでもしっかり読み取れるところなのでそっちに向かいたい。それが本来の、渡辺議長時代に議会報告会やりたいうって進んだ方向じゃなかったんだろうかって、今、提案っていうか、26人の議員さん大丈夫ですよっていうのを稲田議長のところで軌道修正していただくっていうか、全議員に確認を取っていただくっていうことを取らないと、ここでいいことだと言って進むこととは全然違うんじゃないですか。

**○西野委員長** 門脇委員。

**○門脇委員** 報告会の在り方について、例えば、今、鳥取市の場合が例示してありますけど、15分でしたっけ、最初。説明を、議会報告をやって、その後にトークカフェ、こう分かりますけど、結局、その中で意見交換みたいなという意味合いではないわけですか。その在り方じゃなくて。

**○矢田貝委員** その在り方がいい悪いじゃない。そういうことをするためにそういう形式を取るんで、そうしていくということが米子市議会全員の議員の共有にならないと。

(「ならないと駄目だということですね。」と門脇委員)

そのために、提案するために実際の現場に行き行って聞いてくるんだし、そういうまとめ方で、今期、議長にお返ししていくってことですよねっていう。そこをよろしく願います。

(「共有の認識がないとね。一人ずつ考えが違って。」と門脇委員)

**○西野委員長** 吉岡委員。

**○吉岡委員** 矢田貝委員が言われたことなんですけど、鳥取市議会の開催要綱、議会報告会・意見交換会の開催要綱を見ると、議会報告会はやっぱり議会としての意見を述べていうふうには決められているんですけど、意見交換会については求められたことに対して答える姿勢で臨むことっていうふうにすごくふんわりとして、おおらかに書いてあるんで、この辺がやっぱり視察でどの辺まで答えているのかっていうのを確認しないと、やっぱり議会の皆さんも、全部答えるのかみたいになってしまうので。そこを確認したいと思います。

**○岩崎委員** おっしゃるとおりです。そこをぜひ確認したいですね。それで、進化をまたかけてるはずですよ。そこがちょっと聞きたいです。

**○西野委員長** 門脇委員。

**○門脇委員** それぞれの人がきちんと同じ認識を持って臨まないと、このテーブルは、言われたら勝手に自分の考えを、議会全体としての考えじゃないことを言われたら、これ絶対駄目ですよ、こういうことは。だから、そこんところの認識を持ちながら意見交換をしていかないと。違う、そういうことではないですかね。

**○西野委員長** 矢田貝委員。



**○矢田貝委員** 議会報告会というところだとして私、言っちゃうかもしれませんが、鳥取市のでいくと、それは2つ並びなんです。後半が意見交換会なので、そのときには議会を取り払って一市民、一議員として言えば交換できると思うんで、議会報告会って言い続けるとずっと引かかるってことなので、中ポチになって、はい、ここからは意見交換会ですなと思うので、私。だから言えるっていうか、個人として。なので、参加者も議員としゃべった気がするし、意見も何か聞いていただけたって思うっていうか、議会の顔と議員の顔って違うのかなっていうふうに。

(「はい、なるほど。」と門脇委員)

**○西野委員長** 錦織委員。

**○錦織委員** そういうことからすると、タイトルを議会報告会っていうふうにしてしまうと、あらちょっと違うんじゃないなんて参加者とか思うかもしれないし、いつまでも議員も議会報告会って頭あるから、何かタイトルも、何だろう、議会報告会・意見交換会みたいな、どんなのがいいか分からないけど、何かそんな感じでやらなきゃね。何か変えたほうがいいかなって感じはするんですよね。ちょっと変かもしれないですね。

**○岩崎委員** いやいや、いいと思いますよ。米子市議会議会報告会・トークカフェとかね。そんな感じで。

**○西野委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 多分、別に議会報告会に固執しているわけではないけれども、議会報告・意見交換にすると、多分、条例改正みたいなことが出てくるかなっていうふうなところで、多分、議会報告会の中には意見交換という部分もたくさん含まれていますよという、何か行ったり戻ったりなんですけど。そこで、そんな議会報告会開催要綱っていうふうになってるんじゃないかなと思うんです。けども、それはそれで、もう条例改正もやっていくんだっていうようなことだと、もうそれはそれで。

**○岩崎委員** 委員長、大体、でも、一通り皆さん良かれって感じで、あとは作業部会に任せるって感じで聞き取りましたけど、いかがでしょうか。

**○西野委員長** 作業部会で質問をまとめると。

(「ちょっと御意見聞いて。」と岩崎委員)

議長、御意見。

稲田議長。

**○稲田議長** 本日は発言は控えさせていただきます。

**○西野委員長** 作業部会で質問をまとめるとあるんですが、作業部会じゃないメンバーもぜひ。

(「そうですね。」と声あり)

(「委員会開くでいいと思いますよ。」と岩崎委員)

委員会開くとまた、かしこまったふうになってしまうんで。やっぱり作業部会として集まって、結果。

**○西野委員長** 局長。

**○松下事務局長** 質問を取りまとめることが目的ではなくて、この新たな方法をしていこうと、どういう形でしていきましょうという、まず、鳥取市さんのほうを参考にするのか、他市でやってるのを参考にするのか、それは分からないですけど、米子市議会としては、

こういう形で議会報告会、意見交換会も含めた流れをこういう形で組み立てていきますよという途中で、ここはちょっと現地で聞いてみたいなというようなことがあったらそれを取りまとめて、向こう側に事前に通告すると。

だから、一番の目的は、この米子市議会の新しい方式をこういう組立てでやっていきたいと思いますよという、それが一番だと思います、私は。その中でここは質疑、どういう形で他市はやっておられるんだろうなというところが自然にまとまってくるというようなイメージなんですけど。その質問をぶつけるというのも最終的な目的ですけども、それまでに他市のを参考にして、米子市議会としてはこういう形で進めていったらどうだというような、きちとしたものではなくてもいいと思うんですけども、まずはそういったところを詰めていただきたいなというふうに思います。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 局長、ありがとうございます。

私も同様に考えますが、やっぱり新しい議員の方もいらっしゃるので、今までの議会報告を、米子市議会の反省文だとか何かまとめたものもあるんですよ。だから、それをちょっとやっぱり改めて見返してみるっていうのも必要なんじゃないかな。何かそこが出発しているか、この自治連合会のブロックを4つブロックに分けたところの課題で抽出してありますけれども、ここだけではない何か隠れたところもたくさんあるんじゃないかなと思うので、もう一回それをちょっと見ながら作業を一緒にできればと思っています。

そこから、課題とかをやっぱりある程度、もうちょっと整理をして、だからこうしよう、米子市議会の議会報告会・意見交換会はここら辺を主としてやっていこうというふうなところ、やっぱり目的だとか対象だとか、そういうようなところも明確にできればなと思っています。

○西野委員長 錦織委員。

○錦織委員 今までの分を、どういう、反省文だとかまとめがあるんですよ。それをちょっと見せてもらって。

(「コロナ前ですね、やってたのは。」と岩崎委員)

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 そのまとめがあるっていうのは、過去の議事録とかいろんなことを引っ張り出してくるっていうことで、毎回あったっていうことではないかと思うんです。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 何々公民館でやりました、こういう意見が出ましたっていう報告書みたいな感じ。

(「それはあると思います。」と矢田貝委員)

そのことです。

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 今回の作業部会でこんな意見が出ましたっていうのを何となく意見をまとめただけの今日の報告。それから、会長・幹事長会に広報広聴委員会の検討の途中報告ですっていったのも何となく意見が上がったのを拾っただけっていうか、ということ。過去もそういった議論があったんだったら拾うことができるかもしれないので、その意味のことっていうふうに。

誰がその作業をする。作業部会。

(「作業部会。」と伊藤委員)

○**錦織委員** 作業部会の過去の報告書みたいなのを拾いだしてもらって。1枚ぐらいの紙に何かまとめてあるのかな。こんな感じでしたみたいな、報告。報告会したんだから、復命書、何かそんなものが、まとめたものがある。

○**伊藤委員** その班長が議長に報告した意見。広報広聴委員、議長に報告。何かその分があるので、ささっと見れるんじゃないかな。大体こういう人数でとか、なので私たちの会派でも出たんですけども、市役所でやった、401でやったときかな。そのときは10人も来たか来ないかみたいところで、果たしてそれが全体としての報告会かどうかというような意見もありましたので、そんな人数の偏りもすごくありました。だから、地域だから、その地域の議員が一生懸命何か頑張ってる集めたところって。自治公民館や自治会の会長さんなんかを集めたっていうようなところと、あとこういう中心部だと、またそういう地域性が薄まるので、結局は人が集まらなかったみたいなような課題も出てくるんじゃないかなと思ったりしたもんですから、そのような意見を言わせていただきました。

○**西野委員長** 吉岡委員。

○**吉岡委員** そういう過去の反省も少し報告にも書いて、作業部会の報告にも書いてあるんですけども、それを踏まえて、まず広報広聴委員会として議会報告会の在り方を、矢田貝委員が言われたみたいに、報告会を少しと、あとは意見交換会に重きを置いて、広聴するにしても、こっちから意見を言うにしても、そこを重きを置いて、ある程度ちょっと自由な感じの意見交換ができるものに変えるのかどうかっていうことをまず意思確認をしないと、視察に行ってもっていうことを多分、局長さんが言われたんだと思うので、何かこうスタイルのある程度はやっぱり決めないと視察には行けないので、その共通認識とか意思確認っていうのが、もうそろそろ必要なかもしれないなと思いました。

○**西野委員長** 鳥取市のを参考にするという、僕の考えですけど。

(「いや、みんなの考えですよ。」と門脇委員)

(「まあ、みんなが。」と錦織委員)

だから、それに向かって進んでいけば、局長、いいんじゃないでしょうか。じゃないと、いつまでたってもね。

○**西野委員長** 局長。

○**松下事務局長** 私が言ってるイメージは、その作業部会の中で質問項目を考えましょうという話が先に出たので、そうではなくて鳥取市さんのを参考にされたり、他市でも同じようにやっているところがあるので、そういったものを参考にした上で、米子市バージョンの原案の原案みたいなものをつくりながら、協議しながら、その中で疑問点、ここ、どうやってやってるんだろうとか、そういうところをぜひ現地の声で聞いて、少しくリアにして、米子市としては最終的にどうするかっていう判断をしていただきたいかなっていうふうに、それが主訴で発言をさせていただきました。

○**西野委員長** ということで、まずは鳥取市さんの議会報告会、これをちょっと参考にしながら進んでいくということで、それによって視察も行きたいということで、よろしいでしょうか。

[「はい」と声あり]

○西野委員長 これ共通認識で。

〔「はい」と声あり〕

○西野委員長 じゃあ、それに向けて作業部会、もう日程決めましょうか。

〔「はい」と声あり〕

○伊藤委員 作業部会は作業部会でどんどん決めていったらいいと思う。それで皆さんにも、来れる人はね。来れる人はどうぞっていう。

○松下事務局長 一旦閉じますか。

○西野委員長 すみません。一旦閉じるそうです。

**午前 11 時 07 分 休憩**

**午前 11 時 08 分 再開**

○西野委員長 議会報告会については、以上でよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○西野委員長 その他ですが、次回、広報広聴委員会の開催日を決めたいと思いますとあります。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 あとの4人は、議会だよりの作業部会なんですけれども、あらましのところと、あと議会の表紙のページっていうのは、一応もう決まったという認識で進めています。表紙の写真は4月の初めあたりですよ。

（「大体半ばあたりに。」と長谷川議事調査担当係長）

半ばまでなので、初めあたりにはもう出していただくっていうようなことが必要ですし、広報広聴委員が主として出していくっていうふうに決めたので、皆さん、精力的に出していただきたいなと思ってますし、その中で表紙のピックアップを入れるだとか、そういうようなことも進めていきたいと思ってます。あとの議会質問のところだとかは、取りあえずまだ進めることができてないので、共通認識が図れてないので。

○西野委員長 表紙は多分変わっちゃうんで、そっからじゃないと動けないっていうのがありますよね。

○伊藤委員 いや、動けないわけではなくって、それもここでもんで、また会長・幹事長会議に皆さんかけるだとか、会派の皆さんで共通認識を図っていただくだとか、そういうようなところで進めていかなければいけないと思ってますけど、3番以降のところはまだまだちょっと時間がかかるかなと思ってます。

あともう一つ、4月になったら印刷会社が決まると思いますが、その決まったと同時ぐらいに教えていただいて、そうするとアポを取っていただいて、こういうふうにしたらいんだっていうようなことはちょっと御説明に、委員長と私でもいいし、作業部会でもいいし、みんなでちょっとその場面をつくっていただきたいなと思っておりますので、ぜひよろしくお願いたします。以上です。

補足があればお願いします。

○西野委員長 今、伊藤委員が言われたように、次回は米子市議会だよりの表紙の写真の選定がありますので。

（「みんなで出し合おうって決めてましたもんね。」と岩崎委員）

広報広聴委員会の開催日が4月の上旬、中旬ぐらいだったですかね。写真を提出して。

（「何日までってやっぱり何か早めに決めたほうがいいんじゃない。」と伊藤委員）

○長谷川議事調査担当係長 原稿の最終締切りは下旬なので、それから逆算して。

○西野委員長 上旬で写真提出、中旬で集まって。

（「下旬っていうのは、今月の。」と門脇委員）

○長谷川議事調査担当係長 来月です。ちょっとゴールデンウイークの関係があるので、若干ちょっと前倒しになるかなとは思いますが。二、三日は。

○西野委員長 じゃあ、写真は10日までにしましょうか。

〔「はい」と声あり〕

○西野委員長 写真、10日まで。

〔「はい」と声あり〕

○西野委員長 やっぱり、手帳が要るんじゃないでしょうか。

○伊藤委員 閉会中の委員会は、いつでしたっけ。

○松下事務局長 閉会中の委員会、まだ最終日の議運ですけど、提案しているのは、4月でいうと19、20、21です。4月19日水曜日、20日木曜日、21日金曜日です。

○西野委員長 いつも最終回集まってましたっけ。

（「いや、空いたところ。」と門脇委員）

○伊藤委員 長谷川さんに聞いていいですか。もう一回ちょっと聞いていいですか。

5月の連休があるので、最終原稿を渡すのはいつ。

○長谷川議事調査担当係長 通常でしたらもう、30とか29とか、それぐらい。

○伊藤委員 5月の29ですか。

○長谷川議事調査担当係長 4月です。月関係なくて、大体、月末あたりに原稿渡してってというのが。

○西野委員長 19、20、21で間に合うか。写真を選ぶのが。

○長谷川議事調査担当係長 それは間に合うと思います。

○西野委員長 じゃあ、この3日のどれかで。

（「どれかって、取っとかれたらいいんじゃないですか。どれかで大丈夫。決められるものなら決めてしまったほうがいいんじゃないか。」と門脇委員）

○西野委員長 一旦。手帳持ってくれば決めれるというわけではない。

（「委員会日程はみんな。」と矢田貝委員）

だから、今、決めても。

（「じゃあ、早めに19で。」と伊藤委員）

じゃあ19日が広報広聴委員会、次回の写真を決めると。

（「大丈夫ですか。局長大丈夫なんですかね。」と門脇委員）

○西野委員長 暫時、休憩。

**午前11時13分 休憩**

**午前11時14分 再開**

○西野委員長 広報広聴委員会、再開いたします。

19が第一候補で、飛んで21が第二候補という感じでよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

（「終了後でいいのかな。」と門脇委員）

終了後で。

伊藤委員。

○伊藤委員 すみません。局長に、ちょっともう1回教えてください。

印刷会社の候補が決まるのは、4月頭ですか。

○松下事務局長 予算が通ってから入札をかけて、それからです。

ちょっと確認しておきたいとは思いますが、どのタイミングで入札出すとかっていうのは、ちょっと確認をしておきます。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 今回、初めて表紙をまた、皆さんの御意見で変えるので、委員長がさっき4月の10日までになって言われたけれども、あまり私はぎりぎりじゃないほうがいいんじゃないかなと思ったりもします。皆さんが可能ならば、3月中に写真を選んで出していただいて。まあ、無理だったら別に10日でもいいんですけども。猶予期間でね。そうしないと、なかなか写真のイメージだとか、あといろいろ変えていく中で、写真の上に文字をかぶせるだとか、市章のすかしを入れるだとか、結構いろいろな、技術的なことだとか、あとバランス的なこととかも出てくるので。いろいろ想定をして、ちょっと何度か集まって完成していくっていうようなことが必要じゃないかなと思うので。

4月29日にもう最終段階で出してしまうっていうところまでに、少し猶予があったほうがありがたいなと思います。

○西野委員長 じゃあ、皆さん、31日で。

〔「はい」と声あり〕

○西野委員長 森田委員。

○森田委員 結局、でも決めるのって、その広報広聴委員会のとときに出了た写真の中から決めるっていう、なるっていう認識なんですけど。であつたらもう、写真によっては多分、色味をどうするかとかも全然変わってくると思うので、提出を早めるんだつたら決める期間も早めないと、結局、何かデッドライン的に間に合うかどうかっていうところの解決にはあんまりならないんじゃないかと思ったんですけど。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 せっかく、議会だよりの作業部会があるので、ある程度はそこで案をつかって、それで提出するみたいなこと、それで確認を取るみたいなことじゃ駄目なのかなと思うんですけど。

写真を選ぶっていうことよりか、いつものように写真を選ぶっていうようなことではなくて、委員会が。作業部会がある程度選んで、ある程度校正とか割付とかもして、それから、この19日か20日の委員会で確認をしてもらってということでは駄目なんでしょうか。

○西野委員長 では、写真は、この19日に集まる広報広聴委員会よりも先に作業部がある程度決めて、ここでは発表するっていう形にするというふうに持っていくという伊藤委員の意見でございますが、どうでしょうか。

吉岡委員。

○吉岡委員 それであれば、確かに写真の提出が早いほうがよくなって、まだ何案か作業部会で指名したものを選んでいただくっていうような形のほうが、具体的にデザイン変更と

かしやすいかなと思う。それを私たちがやるのか、印刷会社さんとやり取りしてやるのかはまた別の問題ですけど。

**○西野委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** そうしないと、結局は、委員長が最終的には印刷会社から色校が上がってきたものを確認して決定をするっていうことに、この前決めたんですけども、前々回の3つの写真を入れ込んだのは、確認は…（聞き取れず）…で確認しました。だけど、前回のものは確認ができてないんですね。それは日程が合わなかったからかもしれないし、もうできたらすぐに印刷会社で印刷しなきゃいけないので、そこら辺のところの、やっぱりもうちょっと余裕が、前倒しに余裕があったほうが、色の、もうちょっとここんところをこういうふうにしてくださいよっていうようなことができるんじゃないかなと思ったりもするので。

**○西野委員長** 局長。

**○松下事務局長** 伊藤委員がおっしゃっていた、例えば、これ、前んですけども、広報広聴委員会で決めた部分っていうのは、この写真をどれにするかっていう話なんですよ。通常であればそこで決定して、あとレイアウトとか色合いとかっていうのは、事務局と業者とで話しして、それが完成されるということですので、今回、伊藤委員がおっしゃっているのは、この部分を大幅に変更するんだよということなので、写真を含めてこのレイアウトとか、この写真に文字をかぶせることとか、色とか、そういうものも併せて19日に協議をしたらどうだっていう。そこでいろんな意見が出て、まだ1週間以上ありますので、そこで若干の修正ができて、最終校正には間に合うんじゃないかというようなお話じゃないかというふうに思います。

ですから、19日にそういうところを、委員会として最終決定する前に、事前の写真とかは早めに提出して、その写真を使ってレイアウトとか色とかも決めたものをある程度用意して、19日にお願いするっていうような意味じゃないかなと。

**○伊藤委員** そうですね。ありがとうございます。そういうことです。

**○西野委員長** 矢田貝委員。

**○矢田貝委員** それは会長・幹事長会には諮らずに、ここで決まったらもう印刷にいけるっていうことですか。

**○松下事務局長** 私は大丈夫だと思います。広報広聴委員会、権限がありますので、議会だよりについての。

（「分かりました。」と矢田貝委員）

**○西野委員長** 門脇委員。

**○門脇委員** 今、その中で、どうなんだろう、部会で決め、決めても案ですからね、一応あくまで案ですけど、その作業に携わりたいっていう人いらっしやったら。

（「議会だよりの作業部会が。」と伊藤委員）

だから、作業部会の中で、いや、どうしても写真はちょっと私も何か、入ってみたいっていう方がいらっしやったら。どうなんですか。作業部会だけで。

**○伊藤委員** 私も作業部会で、この日とこの日やりますよ。だけど、委員の皆さんにはよかったら来てくださっていうのは、いつもそうしているはずなので、それでいいと思うんです。

もう一つ、あらましも変えていくっていうふうに作業部会で決まったので、そのあらましは結構、大変なんじゃないかなと思うので、議会が終わりましたら事務局の御協力も得て、作業部会はどんどんやっていかなきゃいけないのかなと思ってます。

○西野委員長 今の話のまとめをすると、作業部会で写真をもう決めてしまうと。

(「いや、案です。」と門脇委員)

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 案を、もう2つか3つぐらい出せばいいかなと思ってるんですね。

だから、広報広聴委員会が、ただ単なる写真選びではないじゃないですか。米子市議会として、どういう議会だよりを作ったら皆さんに伝わるかとか、そういうことなので、それを総合的に作ったものを皆さんで議論したらいいんじゃないかなと思ってます。

○岩崎委員 だから、部会でどんどん率先してやられたほうがいいと思うんです。

(「そうです、そうです。」と伊藤委員)

○西野委員長 いいですか。部会でもう1つに絞ったほうが、どうでしょう。効率的に、写真はもう決めてしまったほうが、効率的には、どうなのでしょう。

伊藤委員。

○伊藤委員 多分、何か私が言うのは変なんですけど、デザインというものの、その一つの中に色だとか、どういう分量で、どういうふうに配置をしていくのかっていうのなので、ただ単なる写真選びとは違うんじゃないかなと思うんですね、そもそも。

あえて提案させていただければ、ありがたいです。

○西野委員長 錦織委員。

○錦織委員 1回目っていうのは大変なんだと思うので、毎回毎回こんなじゃないと思うんです。一応、こんな感じでっていうのが、業者さんともちょっと相談したりもするんですかね。

(「そうです、そうです。」と伊藤委員)

だからなんだけど、だから今回はまあ、大変なんだよね。

(「大変、はい。」と伊藤委員)

ということで、早く写真は、とにかく31日まで出して、部会で、業者さんが1週目でもしかして決まったらその人とも併せて、こんな感じにしたいんだけどっていうのを3つぐらい作ってもらって、それで19日に提案してもらおうという感じですよ。そういう、大体、そういうのができると、毎回毎回集まらなくても、私たちの意向を業者さんも分かって、次のときからは写真を決めたら、大体こんな感じでどうですかっていうのが出してもらえるんですよ。

○西野委員長 では、作業部会で二、三枚写真を決めるということですけど。

○伊藤委員 3月31日までに、取りあえず出してください。

○西野委員長 出してもらって、作業部会でもう、二、三枚決めて。

それはもう作業部会に任せていいでしょうか。

[「はい」と声あり]

○西野委員長 じゃあ、それを、もし作業部会以外のメンバーの方も選びたいといえれば全然、作業部会来てください。

[「はい」と声あり]



○西野委員長　じゃあ、作業部会の日程も、両方の作業部会の日程、ちょっとこの委員会後に日程決めたいと思いますので、そういうことでよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○西野委員長　ほかに御意見ございますか。

〔「なし」と声あり〕

○西野委員長　じゃあ、以上で広報広聴委員会を閉会いたします。

**午前 11 時 20 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

広報広聴委員長　西　野　太　一